東北電力のスマートコミュニティへの取組みについて

スマートコミュニティの構築は、地域の復興にもつながることが期待されているうえ、当社にとっても再生可能エネルギー導入拡大やお客さまのエネルギー利用・供給形態の変化への対応に寄与するものと考えております。

このため、当社は石巻市をはじめとする各地域のニーズや特性を踏まえながら、スマートコミュニティにおける新たなエネルギーインフラが将来にわたって地域に本当に役立つものとなるようご協力・ご支援してまいります。

<当社が参画している他のスマートコミュニティについて>

事業名	会津若松地域 スマートコミュニティ 導入促進事業	第二仙台北部中核工業団地 「F-グリッド」を核とした スマートコミュニティ計画
申請者 ※敬称略	富士通株式会社、会津若松市、 東北電力株式会社	大衡村、トヨタ自動車株式会社、 トヨタ自動車東日本株式会社
概 要	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの活用を図るためのエネルギーコントロールセンター（ECC）の構築や、電気自動車の活用による災害時の電源確保、バイオマス資源によるエネルギー地産地消に取り組む。 <p>※ 詳細は弊社プレスリリース（2013年5月1日）をご参照願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自家発電設備からつくったエネルギー（電力・熱）と、当社より購入した電力の制御・最適化を図りながら、工業団地内へ効率的にエネルギーを供給 非常時には、自家発電設備で発電した電力を当社が購入し、当社の配電線から防災拠点となる大衡村役場およびその周辺地域へ電力を供給
当社の 役 割	<ul style="list-style-type: none"> ECC事業の実施主体である富士通株式会社とともに、再生可能エネルギーの活用、電気使用状況の見える化、デマンドレスポンスなどを行うECC事業の企画・立案 	<ul style="list-style-type: none"> F-グリッド宮城・大衡有限責任事業組合（LLP）の組合員として事業運営に参画 非常時電力供給の実現に向けた技術協力
進 捗	<ul style="list-style-type: none"> ECC事業の開始（H26.10月）に向け、システム構築中 防災施設の機能確保・維持対策として、電気自動車および充電器導入済み（H25.7月） 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣工場への電気・熱供給順次開始（H25.4月～） 非常時対策として、プラグイン・ハイブリッド車および充電器順次導入済（H25.3月～）